

第32号

発行日:平成14年10月20日

発行所

東京青山同窓会事務局

〒107-0062

港区南青山3-18-4-304

(有)ジェイ・クラブ内

TEL. 03-3423-3591

発行者 池 一

東京会報

東京青山同窓会

—東京青山同窓会年間維持費—

1口/1,000円2口以上(年間)

会計幹事:山根 伸之(64回)

振込先

みずほアセット信託銀行 本店

普4782496 東京青山同窓会

郵便振込口座 00150-9-4074

平成14年度 東京青山同窓会 講演会・新人歓迎会

平成14年6月21日(金) 於:東京全日空ホテル

平成14年の新人歓迎会講演会が、6月21日、東京・赤坂の東京全日空ホテルで開かれた。会場には、4月に亡くなった偉大なる先輩、斎藤英四郎さんへの追悼の念と、新しい会員を迎える若やいだ雰囲気が入り交じり、悲喜こもごもの歓迎会となった。

この日の会には、今春、母校の新潟高校を卒業して上京した新人7人をはじめ、100人近い会員が集まった。また新潟からは、青山同窓会の上村光司会長をはじめ3氏と、ことしの卒業生を担当した木村正史先生など3人の先生が来賓として出席された。

*追悼

初めに栗林貞一会長の提案で、斎藤

英四郎先輩を悼んで全員で黙とうし、ご冥福を祈った。また、青山同窓会の上村会長はあいさつの中で、斎藤先輩をすくすくとした大木に例え、「その姿を思い返し、寂しく思う。」としのべられた。斎藤先輩は明治44年生まれ、旧制新潟中学校の36回卒業生(北蒲原郡安田町出身)で、新日本製鉄の社長、会長、経済団体連合会の会長を歴任し、日本の経済界の指導者として活躍する超多忙の中、東京青山同窓会の名誉会長も引き受けてくださるなど、我ら東京青山同窓会の精神的支柱とも言える存在であった。

*歓迎

歓迎会では黙とうに続いて、栗林会長が、「東京青山同窓会は多士済々、互い

に親睦を深め、仕事も協力し合っている。」と述べ、新人諸君も気軽に仲間に加わるよう呼びかけた。また、来賓の木村先生は、「110周年記念として建設が進められてきた新校舎がすべて完成し、グラウンドも整備されて、ことしは大きなスケールで青陵祭(運動会)を行うことができた。」と、母校の近況を報告された。

講演を挟んで、新人1人ひとりが紹介され、新人を代表して鈴木雄太さんが返礼のことばを述べた。

*講演

68回卒業で、元警視庁捜査一課長の寺尾正大氏が「犯罪捜査、そして我が友」と題して講演を行った。この中で寺尾氏は、殺人、強盗、放火などの凶悪事件を

専門に、捜査活動に携わってきた経験を踏まえ、「現在の犯罪捜査は、多くの捜査員を動員しての組織捜査で、組織を動かす優れた指揮者を必要としている。捜査指揮者には実務・経験の積み重ねが必要だが、良い指揮者になるには経験を重ねるだけではなく、経験したことを単なる経験に終わらせず、その経験を自分で“質の良い経験”に変えて蓄積してゆくことが大切だ。」と捜査一筋の人生経験を語った。

講演ではまた、自分が担当した犯罪捜査の過程で出会った「友人との触れ合い」をユーモアを交えて話した。そのひとつは昭和56年のロス疑惑。この事件で



は、新潟高校の同期生である経営診断士の小日向信光さん(68回)に頼んで、被告の店の経営状態を調べてもらった。小日向さんは徹底的に調べて、店が破産寸前に陥っていることを突き止め法廷で証言してくれた。そこまでは良かったが、ふたりが高校の応援団のリーダー仲間だったことを弁護側が知っており、法廷でその点を追及される羽目になり大いにあわてたとのことである。

また、同じロス疑惑の捜査の際に「中学校の同級生(中央高校卒)がロサンゼルスでクラブを経営しており、日本人街の状況にも詳しい。」と、同期の友人が話していたことを思い出し、国際電話で連絡を取り合って、いろいろと協力してもらった。渡米して現地で捜査に当たった際には、加熱するマスコミの目を隠すため、彼女の家を捜査員の集合場所や休憩場所として利用させてもらったと、「初めて明かす」取って置きの裏話を披露した。

一方、平成7年3月に起きた、オウム真理教による地下鉄サリン事件では、同期の友人、鈴木裕徳さん(68回)が被害にあったことを紹介した。鈴木さんは、地下鉄の車内で事件に遭遇して意識不明の重体に陥り、一命は取り留めたものの、今なお後遺症に悩まされている。寺尾氏は、捜査一課長として陣頭指揮に当たる中で鈴木さんが被害にあったことを知ったという。寺尾氏は身近にサリンの被害者がいることを同窓の我々に知らせることによって、一般人を巻き込んだ無差別大量殺人とも言える、この事件の恐ろし



講演 寺尾正太氏(68回)



青山同窓会会長上村光司氏(50回) 新人返礼 鈴木雄太氏(110回)



さをあらためて訴えたかったようだ。

*懇親

歓迎会講演会に引き続いて行われた懇親会では、斎藤伸雄名誉会長の音頭で乾杯したあと、先輩後輩、同期生同士など、それぞれに歓談し、思い出話に花を咲かせたり、近況を報告しあったりして、和やかな一時を過ごした。中には親

子どころか、おじいちゃんと孫ほども年齢差のある人たちが仲良く会話する風景も見られた。最後に恒例の新潟中学校校歌「玲瓏の天…」、新潟高等学校校歌「百里流れて…」、応援歌「丈夫(ますらお)の…」を高らかに合唱し、高揚した気分そのままに散会した。

記 重野康人(68回)

ますらお合唱



ごあいさつ

東京青山同窓会
会長 栗林 貞一(59回)

皆さんお元気のことと思います。母校の創立110周年の年も過ぎようとしています。昨年からこれを祝う式典や祝賀会が新潟で行われました。諸先輩が1世紀余にわたって喜々と築かれた伝統の重さをひしひしと感じました。東京青山同窓会でも昨年11月に記念総会として、私共の代表がそれぞれの青山時代を思い起こし、映像によるトークショーを行いました。このときは準備から運営まですべて手づくりで、青山の皆さんの有能な多士済々

ぶりをあらためて感じ、うれしくなりました。

今年に入って本当に残念だったのは、青山の大先輩斎藤英四郎氏(36回)が逝去されたことでした。まさに巨星落つてありました。あの慈愛に満ちた明るい笑顔が見られないと思うとさびしい限りです。

ところで仲々立ち直らない経済の中で皆さん毎日ご苦労されているのだらうと思います。こういうときにこそ強く生きていかなければなりません。私共は時代は異なっても同じ学び舎で青春を過ごした仲間です。同窓会の会合に積極的に出ていただければ、世代をこえて親睦を深めると同時に、自然に協力し合う雰囲気

も生まれます。学年幹事を中心に各期の仲間で連絡をとりあって出席して下さい。

今度の総会では高橋竹秀さん(101回)がプロの津軽三味線をきかせてくれます。

会場の全日空ホテルの清田甚部長(82回)もわが同窓。うれしいですね。大勢参加して楽しく盛り上げましょう。

それでは11月15日(金)お会いしましょう。



グラウンドゼロを訪れて

ニューヨーク昨今の変り様にビックリ

安宅 久恵 (61回)

今年(2002年)1月に仕事でワシントン、ボストン、ニューヨークを訪れる機会があった。

昨年9月11日のテロ事件以来関心の深かったニューヨークのワールドトレードセンタービルの跡地、即ちグラウンドゼロの様子を見てきたので纏めてみた。

予想どおりWA→ボストン→NYと航空機での移動では検査は厳重を極め、我々一行五人の外国人はいつも荷物はX線検査だけでなく蓋を開けて中身のチェック、靴を脱がされて踵に何か隠していないか乱暴に折り曲げてみる、金属探知機はガムの包み、武のアルミを丸めてポケットに残っていたのにもピーピー反応するという徹底したもの。出発時旅行社から下手に文句を言わない事、逮捕されるか飛行機から下ろされるからと注意を受けていたのでまあ時節と場所柄仕方が無いとおとなしくN.Yに入ったのは1月17日だったが到着して見て直ぐビックリした。何と見違えるほど街が綺麗になっていたのである。NYは何度か訪れているが道路は紙くず塵だらけ、スリかつぱらいで物騒、地下鉄は落書きだらけ、冬はマンホールから蒸気が騰々(東海岸の都市では水道と同じように熱水も配管されているがそれが彼方此方で破れ路面が見透せないのがNYの冬の風景)であったのが前回訪れた十年前までの姿だった。それが道は綺麗、警官が多く出ているので安全な感じ、地下鉄はステンレスカーで落書きゼロ、但しその分窓ガラスは引っかき傷の書きで透明なガラスは無いくらい、NYっ子の落書き魂の凄まじさを実感した次第。

グラウンドゼロは昨年12月末、多数の訪れる人の為に見学用のプラットフォームが作られたが一度に五十人程が限度の広さなので整理券が発行されている。我々一行はそれを貰いに遊覧船のチケット売り場へ行く(そこで一緒に発券している)明るい内にグラウンドゼロを見たかったけれども午後六時以降のチケットしか残っていなかった。仕方ないが今日の券が残っていただ

けラッキーと思わなければ。それまで近辺を歩いてみた。ウォールストリートの証券取引所の周りはバリケードとパトカーで一般人は近くにも寄れない警戒が今も続いている。バスもタクシーも一般の車も星条旗を立てたり窓に貼ったり、花屋が何処も繁盛しているとの事。さてグラウンドゼロに近づくと周辺は高さ3メートル程の板塀で囲われ中の様子は全く見えない。その板塀や近くの教会の鉄柵などに訪れた人が残っていた物、帽子やマフラー、人形、写真、日本人であろう千羽鶴も幾つか見かけた、メッセージと共にそれが隙間無く続いている。年寄り、若者、子供づれ、多くの人が押し黙って冬の早い夕暮れの中をゆっくり歩きながら観てゆく。これが大都市N.Yの繁華街のど真中の光景なんだろうかと周りとは不釣り合いな空気の異様さが伝わってきた。現場近くの高い木々の葉の落ちた梢には爆風で吹き飛ばされたビニールがまだ所々ヒラヒラとぶら下がっていた。

見学の時間がきてゾロゾロと列を作ってベニヤ作りのスロープを皆うつむきながらゆっくり登る、二階ほどの高さのプラットフォームに出ると、暗闇の中で地面だけが照明され大型クレーンやダンプが動き回るあの事件現場だ。

今でもNY市消防士を中心に昼夜で作業が続けられているとの事、場所が広いので機械の音は騒々しくなく低いゴーという唸りに似て、之が何とも異様な音響で、ここで亡くなられた方々のうめき声が地から湧き出してくるが如く、見ている人も皆押し黙り、動かず、ぶら下げているカメラにも手を伸ばさず、ただ呆然と目を見開いて顔を前方に向けているのみという感じだった。大勢の人が狭い所にひしめき合っている、白人も黒人も東洋系も、大きい人小さい人がぶつかり合って立っているのに誰も一言も発しない、動かない、押し潰された重い暗い切ない沈黙、こんな経験は生れて初めてだった。ついに係りの人が声を出した、次の人が待っているからと「ムーブ、ムーブ」と声をかけると人々はゆっくりと帰りだした、もう30分が過ぎてしまった、アッと言う間の感じだった。スロープを降りて行く人達の後姿は打ちひしがれた者同士が寄り添って寂しく帰る、そんな感じだった。

今NYで一番の人気商品はFDNY即ちNY市消防士(Fire Department of New York)の帽子及びその他のグッズ。何故消防士は今でも夜も続けて作業に参加するのか?それは消防士仲間が死んだからではない。N.Yの消防士と警察官は圧倒的にアイルランド出身者が多い、中でも消防士は親子二代、三代も多く、今回の事故では弟が、父が、叔父さんがあそこから未だ見つかっていないんだ、だから俺は今日も行くと言うのが多いと聞いた。今問題になっている消防士三人が焼け焦げた星条旗を押して立てている写真をベースにして姿を銅像にしたそのひとりが黒人の体型になっている事に対し異議を唱えているのは正に消防の仕事は我らアイリッシュが努めているんだという自負心が言わしめているのであろう。マンハッタンのだ真中にあるグランドセントラル駅(北からの列車の終着駅で地下にある)のコンコースで消防士4、50人程、縦3メートル位の一人一人の大写真が屏風のように立てられて展示されていた、聞いてみたら之はあのビルから奇跡的に生き残った英雄達だとの事、コンコースから道路に出ると直ぐ老婦人が我々に近づいてきて「写真を見たか?」と聞いてきた「イエス、見た」と答えると「もう一度見ろ」と言う、こんなお節介以前は居なかったように思ったけれどN.Yも変わったものだ。

グラウンドゼロの割合近くのアパートに住む日本人の方に話を聞いた。一番長く困った事は匂いだった、十二月迄続いたとの事、そして今憂慮されている事は、事件の当初ボランティアで協力した民間人のその後の精神状態だそうである。死体や強烈な匂いなどあまりのショックに地元に戻ってから多くの人達で頭がおかしくなり立直れない、その人達をこれからどのようにケアするか大きな問題になっているようだ。事件以来多数の退役軍人も召集され今も働いているそうだがこの人達や消防士、警察官には流石この種の問題は無いとの事、ボランティアも時と場合により一時の善意と興奮のみで参加する事は危険が伴う事を今回は教えられた。日本ではこの種の情報は殆ど伝えられていないように思うが、教訓として心に留めおくべきであらう。

(2002年5月13日筆)

同窓生—Yellowpages

六十七歳で転職

中村 正春 (61回)

今春五月、土木技術者として四十五年間勤めた建設会社を退社し、六月から(株)中村ボーリングに転職し営業を担当しているが、苦戦続きで成果があがらない。七月二十日の「海の日」に計らずも国土交通省関東地方整備局長から表彰

を受けた。恐らく永年水域の低質(ヘドロ)や水質浄化の水環境に取り組んできた事への駄賃だと思っている。ボーリングとは地盤を穿孔して石油、天然ガス、水井戸、温泉の他に、地質構成を明らかにして建造物の基礎設計に必要なものである。最近では工場跡地等の土壌汚染や地下水汚染が顕在化しており、当社も土壌汚染の実態調査など環境問題にも取り組んでいる。同窓の

方々からのボーリング調査依頼を切望している。

祝日「海の日」記念祝賀会

主催「海の日」記念祝賀会実行委員会



連絡先/小平市大沼町1-411-78 ☎0423-13-7756

遂に完成! 世界最大のパッチワーク曼陀羅

片桐靖忠 (67回)

世界最大のパッチワーク・マンダラができあがった。

この壮大な話は、ほんのちょっとした事から始まった。今から8年前のこと、ネパールの子供達のためにマンダラ等売って資金を造り、学校を建てようとした男が日本にやってきた。名はスルジェ・タカリ[NGO ネパール仏教保存委員会会長]。ネパールはヒマラヤの麓、ツクチュ村の出身。

マンダラは、日本の不景気を反映して売れなくなっていた。20世紀は戦争の世紀と言われ犠牲者はいつも女性と子供。だから今必要なのは平和を訴えること、教育の場を作ること。スルジェは自作のビデオにネパールの子供達の現実の様子を写した、28分のVTRにメッセージを込めて人々に訴えた。その男の話に共感して平和を訴える世界一大きなマンダラを作り、イベントを企画して資金を集め、ネパールにテクニカル・スクールを作ったかどうか。さっそくカトマンズで発起会が行われた。60人もの僧侶とアーティストがチベットやブータンなど近隣の国々から集まりこの大きなプロジェクトに参加できる意義と喜びを全身で表現した。その頃、ネパールの南部、インドとの国境近く釈迦の生誕地といわれるルンビニ聖地公園(1997年世界遺産に登録)の一部(80m×80m)が当プロジェクトに永久貸与されることになった。

20世紀が終わり新しい世紀が始まる。この始まりに人種、文化、宗教の違いを超えて世界の人々が助け合い共存できる、平和な世界を作ろう。

パッチワークでマンダラをつくろう。世界の人々が其々の部分を縫い、それを隣の部分に縫い合わせる。沢山の部分が集まって誰も想像しなかった大きなパッチワーク・マンダラが出来上がる。世界の人々が平和を合言葉に力を合わせて一枚のパッチワークを作り上げる。それこそが平和を願う世界協力だ。

1999年7月、ブータンの僧侶ティレイ ノルブに原画を描いて貰う。約2メートル×1.4メートル。弟子5人と9か月かけて描きあげる。その原画をコンピュータ技術で70メートル×50メートルに拡大。それを縦横9等分、81のパーツに分ける。それを更に縦横6つ

に分割。全体で2916のパーツが出来上がる。この1パーツの大きさは、縦127cm横90cm。オペレータは24時間体制で出力に挑戦。真冬の2ヶ月間をフル稼働。一方、並行して原画を写真撮りし、原画の再現色を40色と決め、ボランティアの地道な手作業で、なに色の布が何メートル必要かを割り出す。

6000メートルもの布が織りあがり、染め上がると再びボランティアの手で色ごとに布を切り分け、出力された絵柄とセットにして81のグループに配布される。それぞれにキーパーソンを立て、全ての責任をそのキーパーソンにボランティアしてもらう。受けるキーパーソンも肉体的、金銭的な負担覚悟でかかる大変な仕事だ。(81分の1を仕上げるのに36人から150の人々が協力した)。81分の1でも縦7.7メートル横5.5メートルの大きさがありパッチワークでは誰もやったことの無い大きさである。

世界で81のグループがこの難事業に取り組んだ。

知らない人同士が一つの平和のシンボルを作るために力をあわせボランティアする。そこには自分の、組織の、国の利益等

考えない、純粹に人のために何かをしようとする人々の輪が出来上がる。各地で次々に出来上がる81分の1の絵柄は同じ物が無い。隣のグループと絵柄を合わせるため、細心の注意を払って制作する。縫い上げた人たちは、一様に大仕事を完成した達成感と満足感で満たされるという。各パーツが完成するたびに各地のメディアが紹介する。

マンダラの宇宙観、ブッダの説いた「あなたが隣の人をケアすれば、その人もその隣の人をケアする、そして、いつか全く知らない人ともつながり、ケアすることになる」という教えにもつながる。

寛容とやさしさで平和な世界を作り出すことが出来るだろう。

4月29日、とうとう81のパーツ全てが縫いあがる。YKKはこの81のパーツ全てに特別なファスナーを縫い付けた。いまだかつて誰も見たことの無い世界最大のパッチワークによるマンダラが1枚につながる感動の瞬間。最後のパーツがファスナーで繋がった時いっせいに歓声と拍手が沸き起こった。横浜アリーナを埋めつくす巨大なマンダラが静かに私達を見つめ返していた。

とうとう、この世界最大の素晴らしいパッチワークは10000人ものボランティアによって完成した。平和を呼ぶ大きな力となる為に。

この日の為に、多くの同窓の士のご協力を頂きました。紙面をお借りして感謝を申し上げます。

曼陀羅全貌▼



◀曼陀羅一部分

片桐氏(左)▼



59期同期会

幹事 園城英二

第59期卒業生新潟玲龍会



去る9月26日ホテルセンチュリーハイアットに於いて、59期同期会が開催された。卒業して51年が過ぎ、古希を迎える年齢になりましたが、同期の者同志が集まれば歳のことなど忘れ、皆十代の学生時代に戻ったような気分で、良く飲み、食べ、語り合っ楽しい一時を過ごしました。記念撮影をし、最後に校歌を斉唱して散会致しました。

出席者 池田正文、梅沢貞雄、大山久、園城英二、笠井駿、栗田順之、栗林貞一、栗林洋、小池和男、河野誠、小林栄作、小林幸久、眞田八束、渋谷幸三、高橋春夫、長橋敏雄、花井進、山田陽一、吉田陽吾、渡辺満 以上20名

幹事の一言。

もう少し参加者が多くなることを希望して居ります。

第25回東京青山61期同窓会

幹事 藤田太郎

「第25回東京青山61期同窓会」が、恩師大橋禎助先生をお迎えて、平成14年6月8日(土)午後6時から新宿西口の「新宿モリス」で開かれた。参加者51名。

この会は、昭和28年新潟高校61期卒業生(322名・A-G組)の同期会である。

昭和53年に東京在住の有志で開いたのが最初であり、年々盛会となった。現在、幹事は持ち回り、毎年6月、都内の集まりやすい場所を選んで開催している。今年はG組が担当した。

当日は日差しが強い日であったが定刻に開会。まず物故者のご冥福を祈り、大橋先生のご祝辞を頂き、懇親に入った。

70も近くなり、さすがに酒量はやや減ったものの、勝手知ったる間柄、気安く新潟弁が飛び交い、心行くまで歓談が続いた。

佳境に入ったところで、組単位で記念写真を撮り、懐かしい校歌、応援歌を全員で声高らかに歌い上げた。

最後は、来年の卒業50周年記念大会に、元気で再会しようと約して散会したのである。

ところで、本会は毎回、50から70名が集

まっており、欠かさず今日まで続いている。毎年会う仲間、数年ぶりに会う者、話を聞きつけて初参加という人もいます。

また、新潟在住の仲間との連携も強く、平成5年には卒業40周年記念として、瀬波温泉「汐見荘」で、平成10年には45周年記念として、「岩室温泉「綿屋」で新潟勢と合同開催。懇親とゴルフを楽しんだ。

本会が末永く続くことを心から祈るものである。

G組幹事 藤田太郎

第61期卒業生同期会

平成13年度・会費納入者一覧
H13.10.1～H14.9.30現在まで

通信制8回(1名)	40回(2名)	田中 正吾	川村 明義	松永 しげる	本間 俊之	藤井 義良	斎藤 泰五郎	盛山 淑郎
佐藤 秋子	会田 俊雄	本山 信城	高橋 治	48回(3名)	山田 英世	村山 一	坂井 保也	山田 豊
36回(2名)	高田 信川	43回(6名)	野瀬 秀雄	佐藤 素一	50回(13名)	塩田 欣彌	渡辺 義隆	渡辺 義隆
斎藤 英四郎	41回(4名)	梅田 梯次	馬場 義輔	田中 利男	一柳 俊夫	浅見 信夫	橋本 義行	55回(9名)
八木 博	五十嵐 富郎	小沢 省三	46回(5名)	薬科 正美	岩澤 信夫	上野 仁	廣川 勲	阿尻 威吾
37回(2名)	伊藤 一雄	里見 義忠	稲野 藤三郎	49回(10名)	小黒 聡	笠原 仰二	53回(11名)	倉茂 周明
馬場 幸一郎	布施 栄信	滝沢 義雄	上杉 栄一	赤松 元敏	佐藤 剛一	梶井 功	安達 信吾	斎藤 健一
高野 政夫	星名 孝平	野澤 正男	西澤 正	井上 正	瀬谷 誠	北村 茂	岩永 千年	千葉 繁治
38回(1名)	42回(3名)	本間 武	福島 弘	岡本 治雄	高橋 修	千葉 繁太	小嶋 尚夫	中村 正義
丸山 岩三	高橋 二郎	44回(2名)	山田 市男	梶山 勝清	塚野 俊彦	52回(9名)	近藤 圭二	星 健
		斎藤 伸雄	47回(4名)	梶原 計佐	敦賀 博	阿部 和夫	佐藤 良策	水澤 悠紀郎
		坂井 健一	木村 和郎	工藤 弘安	寺田 秀夫	北村 新平	高田 鴻一	村山 義夫
		45回(5名)	小杉 吉二郎	中村 廣徳	時田 勇司	児島 壽一	中島 常雄	吉原 賢二
		大滝 俊夫	斎藤 しょう太郎	仁保 武人	中村 晴信	斎藤 茂美	堀 時男	56回(73名)

赤坂 長弥 朝比奈 弘昭 荒井 宏 飯島 昌弥 石崎 和雄 石田 智 石田 恒良 市川 千尋 伊藤 昶 井上 菊雄 指宿 淑 今井 忠平 内山 二 大谷 神兒 大野 利夫 加藤 勝則 金子 昌次郎 川田 幸雄 北村 晴四郎 木村 直平 久慈 正彦 久保田 剛敏 幸田 慶治 小嶋 秩夫 小島 直孝 小林 昭一 小松 重男 近藤 源也 齊川 和平 坂井 洲二 佐藤 幸喜 残熊 謙一 塩見 戎三 菅原 惇 鈴木 正身 鈴木 正安 鈴木 寧 清野 誠二 高見 久義 田代 九郎 建部 恒彦 田卷 宏治 田村 量一 照木 仁 永井 喜八郎 中川 彰 中川 邦司 中島 顕 中村 晃 中山 昭一 成田 順治 庭山 六郎 藤井 祝兄 藤井 泰介 藤田 和夫 伏見 康 堀藤 四郎 堀藤 祐孝 松井 昭五 三上 昌 三崎 正一 皆川 正男 宮田 和明 宗村 慎三 村松 茂樹 山口 和郎 山城 教成 山田 幸輝 山田 陸男 山中 紀行 山本 幸正 渡辺 友也 57回(2名)	小野 塚彰 川口 政行 58回(18名) 池田 成義 奥村 陽彦 片桐 欣哉 片桐 啓三 斎藤 茂 佐藤 明夫 田中 浩次 露谷 秀雄 細貝 実 堀内 俊夫 松井 慎平 宗村 泰四郎 村山 保 毛利 剛 望月 和明 福田 満 本永 祐嗣 山谷 昭榮 59回(38名) 池田 正文 板井 裕 牛木 素吉郎 小島 欽蔵 大島 洋一 大山 久 岡田 久 奥村 繁樹 小熊 英夫 小村 幸久 金巻 久 櫛谷 全一 栗林 洋 栗林 貞一 小池 和男 河野 誠 小城 一廣 茂泉 喜彦 洪水 幸三 下條 貞友 園城 英二 高橋 晴夫 高橋 正利 高山 昇二郎 長島 一郎 長島 敏雄 納谷 喜郎 西野 武 花井 進 藤原 幸雄 水沢 邦弘 皆川 潔 山崎 徳左衛門 山田 和雄 山田 陽一 山吉 一成 吉田 陽吾 若木 滋 60回(25名) 五十嵐 康男 石黒 忠士 石田 哲 市村 哲 岩田 暁一 小川 秋実 落合 夏樹 金山 常吉 小出 直 小山 彦 近藤 純夫 高城 英雄 高橋 明男	千葉 潤 長橋 洗 野村 保夫 長谷川 秀三 早武 正博 廣瀬 欽次郎 藤本 剛 益子 恒徳 丸山 敏視 宮田 庄之助 山崎 良一 山本 淳夫 61回(34名) 浅見 昭夫 伊藤 英子 風間 博 河辺 全也 木村 政雄 熊谷 隆幸 小池 英彦 小池 弘 小嶋 哲夫 小林 元雄 川崎 栄一 齊藤 伸昭 佐藤 敏夫 柴野 良一 杉山 由人 助川 孝雄 果山 誠之 高橋 駿 相馬 嵩 竹尾 昇 田中 宣 田中 忠夫 田村 文男 鶴巻 正義 時岡 泰 長沼 雄峰 長谷川 耕一 長谷川 義明 長谷川 良雄 丸山 通夫 村山 健 谷田 部信 山田 充 安宅 久憲 62回(24名) 安食 恒昭 池田 昌之 石本 悦夫 石黒 恒 内山 隆之 大高 康夫 小黒 昌一 熊谷 恒夫 小池 健治 小島 研也 佐藤 勝彦 佐藤 武司 鈴木 勉 田子 元 田中 毅 永井 梓 中村 忠彦 藤井 則忠 藤原 岑子 帆刈 宏典 三浦 愛三 皆川 重 本井 孝至 山田 信一 浅野 康一 63回(12名)	五十嵐 信一郎 石渡 利男 小原 和子 笠原 恵 高橋 良行 馬場 政説 彦坂 道迹 山村 弘義 山田 量 山田 恵一 油本 暢勇 64回(32名) 阿部 欣司 植村 嗣音 牛木 容三郎 太田 健治 柄沢 茂 川口 徹 川崎 明 山崎 清 桑野 光雄 齊木 幸彦 坂井 俊一 坂本 昌弘 佐藤 章 佐藤 茂司 品田 亘 柴野 数雄 嶋岡 洵 清水 良男 新谷 昂司 高橋 正幸 田巻 亮 田村 康一 中島 仁 中谷 光隆 中山 慎彦 早川 周作 星 満 堀 健次 三國 六朗 山根 伸之 吉川 要輔 吉田 豊祐 65回(22回) 飯村 厚 池野 浩 伊藤 忠明 川上 肇 川合 英次 久保田 泰雄 小林 亘 佐藤 貞夫 佐藤 武行 三林 輝夫 柴澤 大五郎 渋谷 皓 鈴木 衛士 関 英一郎 半澤 貢 三浦 進次 水野 左敏 山崎 耕一 山田 誠之輔 山田 寛 山本 和親 吉田 治彦 66回(19名) 阿部 三男 内田 定寛 菊池 重治郎 川上 肇 木下 功 熊谷 國男	佐々木 紀美子 柴野 恵子 田中 澄夫 丹羽 真彦 二宮 靖彦 野水 宏樹 林 武郎 半澤 弥栄子 榎 精一郎 宮崎 一彦 室 由紀子 吉田 六左エ門 鷲頭 陽一 67回(15名) 石井 幹男 一柳 肇 小野 勝義 大野 隆治 風間 繁 片桐 靖忠 片山 忠一 佐々木 邦夫 高橋 三郎 高橋 信夫 西 章 前田 康久 山田 十市 山田 尚男 吉田 一郎 68回(24名) 安達 雅巳 阿部 尚武 伊佐 早幸男 江上 雅子 上村 嶺子 草野 佐 久保田 幸郎 熊谷 尚武 齊藤 正果 佐藤 敏 重野 康人 進藤 喜代子 滝沢 猛 寺尾 正大 中村 秀子 浜田 庄司 藤田 伸二 増子 雄男 松橋 英夫 鎗居 秀禎 渡邊 公夫 渡辺 泰彦 渡辺 千鶴 渡部 治子 69回(13名) 青木 利祐 岩尾 信宏 小黒 朋弘 岡田 尚子 佐藤 孝靖 清水 一男 田島 秀夫 服部 千尋 樋口 正臣 松尾 健司 矢川 一義 山崎 高明 山田 建男 70回(18名) 猪口 孝 岩城 忠之 魚谷 茜 岡田 利邦 加賀田 則夫	金子 正史 川田 昌人 堀根 俊明 高橋 道子 田辺 豊 土田 進 野川 晃一 福島 治 小宮 士郎 若井 正嗣 渡辺 允雄 渡邊 義介 渡部 美那実 71回(13名) 井上 恵 内山 博勝 柄沢 卓 太田 裕 大場 菊代 小飯 塚豊 小林 碧 斎藤 誠 佐藤 禮子 高橋 直樹 中村 英一 堀 清忠 三澤 京子 阿部 正憲 有山 敬子 石田 庄 宇田川 由美 勝見 修 黒木 トシ子 小林 正昭 佐藤 護 佐藤 俊正 白勢 春輔 隅木 隆 高橋 忠 高橋 祐介 富田 由李 太刀川 圭一 中地 光子 花沢 満 松永 宏五 矢島 邦夫 渡辺 穀之 73回(8名) 阿部 裕 石黒 久 遠藤 裕久 萱場 成郎 田巻 裕 中野 治 成田 常也 両川 弘道 74回(20名) 藍沢 幹人 池 一 石井 拓男 石山 范 和泉 潤 岩城 久則 江口 則男 大滝 均 小木 恵介 加門 文隆 加藤 博 菊池 隆 工藤 義夫 笹川 雅之 佐藤 浩	高橋 保 波多腰 明 原 信一 三田村 健一 75回(31名) 青木 英明 有蘭 順子 伊藤 公 植木 菊夫 植村 由規夫 岡田 政文 大越 公平 大塚 恵子 吉澤 敏雄 渡辺 哲三 笠井 忠 川上 滋 小泉 慈行 小出 公平 後藤 輝雄 斎藤 章二 佐藤 邦雄 曾我 正男 高橋 正 田辺 省一 小野 武 長井 仁 野崎 茂 藤井 建一 藤縄 利勝 本間 彰 宮 純一 萬歳 信行 村山 勝 山崎 信行 吉村 久雄 76回(24名) 岩原 俊介 久住 治 小田 高久 尾張 明美 海部 和史 近藤 壽邦 指田 久美子 柴田 明雄 島 健介 鈴木 茂夫 竹内 輝義 田澤 康樹 田中 邦直 谷沢 承子 太原 まゆみ 田村 俊作 長北 学 古川 恒一 細谷 洋一 三沢 健 森田 満 湯本 雅恵 渡辺 拡 渡辺 雅夫 77回(10名) 片山 等 北上 敏榮 北村 一雄 神戸 裕 斎藤 實 杉崎 真実子 角南 兼朗 久保田 隆夫 長谷川 実 山田 民夫 78回(16名) 太田 秀樹	小野 真知子 小泉 隆晴 川村 和共 斎藤 庫之丞 桜井 稔 篠田 敏朗 須田 幸子 清田 潔 中林 健一 松田 元男 向井 美夜子 肥田 博子 吉井 譲 吉澤 哲彦 渡辺 茂 79回(8名) 小田 章治 小原 正男 河 正子 齊藤 浩爾 西口 幸男 星名 健二 牧野 剛博 山田 浩二 80回(2名) 小野 秀子 玉木 友二 81回(7名) 荒川 洋 尾山 尚 上村 隆 近藤 敦 笹川 典男 堀川 良史 鰐淵 博 82回(4名) 日下部 朋子 小池 康男 清田 甚 小亦 斉 斉藤 滋 成田 昌稔 西山 活子 吉田 実 83回(7名) 大沼 敏夫 遠藤 光郎 佐野 栄二 杉本 信昭 高山 佳郎 山口 虎彦 横山 修 84回(8名) 大須賀 郷子 唐澤 亜弥子 瀬在 昭弘 島津 孝 田崎 正巳 野村 陽太郎 星野 郁夫 星野 紹英 85回(16名) 雨木 若麿 荒井 裕子 石津 亘 今井 豊重 宇野 篤子 大谷 郁夫 奥村 基 久保田 浩一 佐藤 康 笹川 康雄 塩田 拓哉 杉林 亨	戸枝 秋夫 登坂 和生 西山 信好 松下 正寿 86回(5名) 伊佐 アキ子 斎藤 健 広田 淳子 前田 智子 宮腰 重三郎 87回(5名) 及川 朋子 清水 忠明 田口 操 南 正人 渡辺 政城 88回(7名) 今井 信一郎 岡本 泰子 木全 恭代 小竹 聡 諸橋 博樹 長谷川 隆 渡辺 哲也 89回(3名) 岩野 尚子 紺野 由紀子 中野 まさみ 90回(2名) 木村 和人 田辺 文 91回(1名) 酒井 祐司 白坂 和久 95回(1名) 橋田 篤英 97回(1名) 渡邊 英典 101回(1名) 打越 輝郎 102回(1名) 池田 哲郎 103回(1名) 松原 有里枝 105回(2名) 根津 純子 柳通 こずえ 106回(1名) 野本 裕史 107回(1名) 小橋川 嘉樹 108回(1名) 藤田 和義 109回(1名) 伊藤 喬史 110回(2名) 伊藤 誠 渡辺 菜衣子
---	--	---	---	--	---	---	---	--

以上702名

感謝
56回学年幹事宗
村 慎三氏のご尽
力により、70名の
会費をご入金いた
だきました。
(事務局拝)

平成14年 東京青山同窓会 総会のお知らせ

【日時】

平成14年11月15日(金)

p.m. 6:00 受付開始

p.m. 6:30 開会

【会費】

一般 8000円

女性 6000円

大学生 3000円

【会場】

東京全日空ホテル

港区赤坂1-12-33

TEL. 03-3505-1111(代)

【年次総会】【アトラクション(津軽三味線)】

【懇親会】

会場にご注意!



最寄り駅【溜池山王駅・13番出口】銀座線・南北線

【六本木一丁目駅・3番出口】南北線

路線バス【赤坂アークヒルズ前】下車 都01系統/新橋駅~渋谷駅

総会アトラクション

津軽三味線

高橋竹秀 (101回)



高橋 竹秀 Takahashi Chikushu

1974.9.19

新潟生まれ。

新潟高橋竹山会二代目会主である母、高橋竹育の元で、幼少より三味線の音色とともに育つ。

9歳より本格的に三味線を始め、14歳で竹秀の称号を受ける。

2001年6月、アルバム「新風」のリリースと同時に、プロデビューコンサートを開催。2001年11月にはハワイでチャリティーコンサートを開催。以後、国内外で多くのライブ活動を行い、好評を博している。

その演奏は、繊細さとダイナミックさをあわせ持ち、竹山流の正統継承者として、注目と期待を集めている。2002年5月、フランス・パリ公演を高橋竹童と共に務め、大絶賛を浴びる。師竹山ゆずりの美しい音色には定評があり、急成長を遂げている。

住所リスト出力サービスのお知らせ

当同窓会では、皆さんからの情報を元に常に会員の住所録をコンピューターにて更新しております。「同期会をやってみたいけれど、皆の住所がわからない…。アイツは今どうしているんだろう?」などと思ひの方は事務局までお尋ね下さい。学年毎のリストを出力してお届けいたします。ご希望の学年と、リストか、ラベルかを明記し、連絡先を書き添えて事務局宛FAX.をお送りください。FAX. 03-3423-1692(日下部・82回)

■住所リスト1学年/3000円

■宛名ラベル1学年/4000円

偶数月第二火曜日の会

平成14年度の予定

12/10(兼・忘年会)

平成15年度の予定

2/11・4/8・6/10

日本海庄や(赤坂店)7時～
港区赤坂3-13-7 Tel:03-3586-5003場所も時間も定例です。
ご自由にご参加ください。

同窓会年会費 自動引き落としのご案内

当同窓会では、振込に手間も手数料もいらない「口座引き落とし」のシステムを導入しております。お手続きいただいた方にはお名前入りのIDカードをお作りいたします。ご希望の方は、事務局までご一報下さるか、今回の総会の受付までお申し出下さいませ。

郵便局に出かける手間が
省けますIDカードとして
お持ちください

【すでに同窓会カードをお持ちの会員様へ】

年会費自動引き落としのお知らせ

平成14年度(平成14年10/1～平成15年9/30とします)同窓会年会費(2000円)を平成14年10/26頃ご指定の口座よりお引き落としさせていただきます。(残高のご確認をお願い致します。)

■計報■

平成13年6月の返信にてお知らせいただいた方々です。

樋口 政和 (24回)
斉藤 一雄 (29回)
浅海 勝治 (31回)
佐藤 岩男 (33回)
野澤 正司 (34回)
竹内 仁幸 (34回)
入沢 健二 (35回)
植木 正平 (36回)
古関 朔郎 (36回)
坂井 寿夫 (41回)
富本 憲治 (44回)
伊南 光 (46回)
松永 霧 (47回)
宮路 歳男 (49回)
木原 陽 (52回)
石田 恒良 (56回)
本田 勝 (57回)
野沢 七男 (64回)
桂 重照 (66回)
水上 紀世子 (67回)
横尾 治子 (69回)
竹石 博亮 (73回)
山沢 啓三 (81回)

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

一筆啓上

～H14年度 新人歓迎会への出欠はがきと会費振込用紙に添えられた近況です。～

36回・関昇

斉藤英四郎君がなくなった。無理をしたようだ。クラスのためによくやってくれた。「暗きを見ず」を知っているのは小生だけのようだ。

41回・五十嵐富郎

秋田市在住の学友は病気でいるので、一日も早くおそく月中旬には一泊二日の予定で行く予定です。青山同窓会の会員だった兄と末弟はすでに逝き、あとはまさに正常な体調の私と車椅子の次弟が生きているだけです。

41回・伊藤一雄

会費納入の同年の人が4人と驚きです。ヘボ基とミニゴルフ。腰痛に堪えて頑張っています。

45回・野瀬秀雄

7年前に大腸ガンと肝臓ガンをやり、今はその余波で体調のいい時とよくない時とが交互にやってくる。欠席させて下さい。

46回・小籠幸男

(2001年)昨年8月 寿寿を迎え、年なみに元気です。11月21日 青山46回(白山会館)開催出席者24名(約10%)最後になります。

47回・廣政順一

老兵は消えゆくのみ。いまはとも人並みの付き合いができる状況に非ず。今後ご連絡などすべてご放念下さい。

49回・赤松元敏

日々養生中。寿命に謝す。

49回・阿部東

7月より下記に住所が変わります。葛飾区 立石6丁目7-11-505

49回・濱博世

おくれてごめんさい

50回・松原明

今後はスケジュールが完全に重なり行きたいのは山々なんですが失礼させていただきます。よろしく

51回・藤島武雄

先約あり。御盛會を祈る。

51回・浅見信夫

H14.6多摩平より上記旭が丘に転居しました。名簿訂正お願い致します。

52回・渡辺達郎

会報の誌上では、ブランド品の人物のみをのせ名も無き草の存在を忘れている。先輩、後輩、同期の関係は、縦と横のはずだ。表面のみの同窓会にあらず。風聖一如

52回・佐藤昭三

昨年の肺の手術をやり、漸く回復した所です

52回・大塚幹雄

折角のご案内ですが、当日別会合と重なりましてで失礼します。ご盛會を祈ります。

53回・岩原昭

6/7(金)53回卒の有志で同期の近奈男君(家族計画国際協力財団事務局長)が国連の人口費受賞の祝賀パーティを開きました。

53回・長沼道典

相変わらず病氣引籠り中です。悪しからず、お許しを乞う。

53回・上田淳一郎

小生、平々凡々たる日々を送っております。

58回・大門啓治

H14年度、会費納めます。

58回・片桐啓三

故茅誠司(元東大長学)の小さな親切運動の1つとして鍼灸治療院を年中無休でやっているため、なかなか出席できません。

58回・佐藤格

古稀をまかせ、益々元気に過ごして居ります。同期会の東京玲流盛會には皆勤して居ります。

59回・岡田久

住所同じ町名ですのよろしく。電話は変わりありません。

59回・花井進

先日アルビレックス新潟首都圏後援会設立総会ではお世話になりました。またお写真ありがとうございました。

59回・小域一廣

海外出張中に付欠席致します。盛會を祈ります。栗林会長によろしく。

59回・牛木素吉郎

ワールドカップ取材で6月中は飛びまわっています。出席できなくて残念です。

59回・長島一郎

御盛會を祈ります。

59回・藤原幸雄

体調、雑務、等で申し訳なく欠席させていただきます。

59回・吉田陽吾

当日勤務のため欠席させていただきます。栗林会長によろしく。

59回・池田正文

今年8月6日～11日迄札幌三越にて小生の油画個展を開催致します。おついでがあれば――。

59回・遠藤欽蔵

あまり人に会いたくありません。年なのでしょうか。ゴルフだけが生き甲斐の今日この頃です。

60回・長橋洋

残念ながら所用があり出席できません。盛會を祈念しています。

60回・高橋正樹

元気に過ごしております。

60回・千葉潤

東京・新潟のMUZO会で仲間と楽しくやっています。青山同窓会員の皆様の益々の御発展をお祈り申し上げます。

60回・高城英雄

すみません。今暫く休みとさせていただきます。

60回・坂井丈夫

地元の三鷹市の環境保全部議会委員をしています。出掛けているため返事が遅れて申し訳ありません。

60回・後藤雅彦

返事遅れて申し訳ありません。

60回・掛橋尚賢

恐縮ですが私と60回入学ですが在学期間一学期のみで卒業しておらず、他地区に転校しております。会費も払っていませんので、同窓会の資格なし、放念下さい。

61回・阿部徳二郎

定年退職後自然保護活動のボランティアです。多摩動物公園シルバークライド、自然教育センター嘱託多摩丘陵の自然を守る会

61回・小池弘

会報第31号で総会の総合司会をされていた小林元雄君(61回)

と同第26号で同期会報告をされた中村正春君(61回)を知り両君の今後の活躍をお祈り致します。小林元雄君は2年(G組)の時、中村正春君は1年(G組)の時共に同クラス。また中村君は旧四中の同級生でした。両君共に数学が強かったと記憶しています。

62回・佐藤勝彦

偉大な斉藤先輩のご冥福をお祈り致します。所用のため参加出来ません。参会の先輩諸兄姉によりお伝え下さい。

62回・帆刈宏典

ご盛會を祈念申し上げます。併せて各位のご健康を祈念申し上げます。

63回・村山弘義

北海道での滞在予定があり、欠席します。御盛會と会の益々の充実、御発展をお祈りします。

63回・馬場政昭

非常勤で小使程度の収入を得ています。

64回・吉田豊祐

遅くなりました。申し訳ありません。

64回・坂井俊一

事務局いつもご苦労様です。

64回・庭山暢彦

ご盛會を心よりお祈り申し上げます。

64回・佐藤章

御案内をありがとうございました。当日は試験日と重なり残念ながら欠席いたします。

64回・田才邦彦

異人種交流(小生会長)の旅行の前日なので、誠に残念!

64回・中谷光隆

木造校舎二階から見た雪をかぶった飯豊連峰、母と泉性寺へお参りの墓参りに行く途中、西風通って行き交った芸者さんの光景が忘れられません。テレビで新潟の絵が出てもどこか分かりません。

64回・清水良男

御盛會をお祈りいたします。ご出席の皆様によろしく。

64回・太田健治

大変申し訳ありませんが欠席となります。益々の御発展を祈念しております。

64回・田巻亮

遅くなりましたが、都合悪く残念ながら出席出来ません。

64回・津野慶治

部屋のリフォームの工事に入り大忙しです。返事が遅くなり申し訳ありません。完全リタイアしましたが元気に過ごしております。

64回・中谷光隆

心電図の上で波形が異状で、無理をすると狭心症になると医者に言われ、当地に留まっております。会員の皆様方のご健康・ご多幸をお祈りするとともに、物故者となった会員のご冥福をお祈りします。

65回・吉田治彦

他の予定が重なっていたのですが変更できたので、出席いたします。遅くなっても構いません。

65回・関英一郎

小生同窓会なるものには余り興味の無い輩の一人だが、ニイガタでなくと食べられない或る「キエモノ」があり、もう此処二十年近くも食っていないので幸い丁度その頃はクランキン中ではないし、佐渡迄足を伸ばせば旨い魚も食えるし、と卒業以来四十五年目に於いて初めて七月の新潟青山には出席することとした。

65回・横山修二

何時もご案内頂き、懐かしく拝見しております。今回は欠席させていただきますが今後共よろしく御祈り申し上げます。

65回・丸山一敏

いつも大変お世話になります。

65回・佐藤武行

遅くなり申し訳ありません。以前から先約があり出席できず残念ですがご盛會をお祈りいたします。

66回・内田寛

柔道部OBです。合同講師の森正人氏は1年後輩です。宜しくお伝え下さい。所用にて失礼致しますが…。現在週5回柔道着をつけ、楽しんでます。

66回・合田晴美

同窓会の頃は仕事をやりくりして、若い頃アルビニストだった夫とスイスの山歩きをしている頃です。昨年定年(65才)の夫と定年のない仕事の私とでなかなか調整がむずかしい日々を過ごしています。

67回・池隆夫

今年の3月より宝塚より京都(上記の住所)に移転しました。

67回・石田瑞穂

今年も又、楽しみに参上させていただきます。

67回・大野隆治

多くの出席がありますように。

68回・斎藤健助

寺尾君の話を聞きたかったのですが出張の為、残念ながら欠席します。

68回・重野康人

今年1月NHKを定年退職。現在はNHK情報ネットワークで専門委員(契約)として、NHKの仕事をしています。一応、自営業ということですが。

68回・佐藤忠司

昨年定年退職しました。パソコン教室でボランティアを行っています。

68回・松橋英夫

住所、電話番号が変わりました。

69回・松尾健司

01.3.31に34、5年勤務した日本郵船(株)を定年退職し、01.11.18より関連会社のシーテックエンジニアリングサービス(株)に再就職し、現在韓国の大宇造船所で工務監督として駐在中です。

70回・澤田貴志

個人情報を書かせるのならば、随分ためのシール等をできるのなら入れてほしいと思います。

70回・金子正史

何時も連絡ありがとうございます。出席したいと思っております。その時はどうぞ宜しくお願いします。

70回・鈴木正俊

70回の同期生の出席が少なく寂しく思っております。

70回・野川晃一

会員として引続き加入いたします。

70回・野村治

ルーテル教会の屋上から最高のグラウンドが良く見えます。明日は6/8青陵祭があるようです。

71回・中村英一

丁度上京の用務があり、久しぶりに東京会に参加したいと存じます。どうぞよろしく

71回・大場菊代

元気で暮らしています。

72回・渡辺毅之

新潟ではワールドカップサッカーで大勢の外国人が訪れています。

72回・富田由季

66回桂重昭が昨年亡くなりました。(私の従兄です)

72回・高橋忠

残念かつ申し訳ありませんが、所用のため欠席いたします。

74回・山崎久孝

今年4月に28年住み慣れた所沢を離れ新潟にもどりました。五右衛門小屋という石打丸山スキー場のスキーロッジです。これで東京と新潟の両方の同窓会に出席できることになりました。

74回・菊地隆

また引越たよー!

74回・大滝均

21日は今のところ予定が入っているのですが、その予定がなくなれば、出席したいと思います。

74回・加門文隆

マレーシア大学サクラク校新キャンパスの設計監理を担当しています。当日、現地への出張のため欠席させていただきます。OB各位の益々の活躍をお祈り申し上げます。

74回・大石憲一

返答が遅くなりました。申し訳ありません。市内局番3桁に変更。

75回・有園順子

郵便がなかなか届かずはらしました。6/4(火)着でした。

75回・宮純一

過日新潟へ行く機会があり、新装なった校舎を見て来ました。往々年を思ふ行いは今はなく、時代の移り変わりを感じました。

78回・肥田博子

5時50分には会場に着くようにします。今回は81回の弟が上京しているの、都合がいたら参加してもらいます。

78回・村田光男

高齢者、私もそして文化をキーワードに様々な方々とまちづくりを進めています。

79回・小原正男

職業訓練校へ通学中

85回・奥村基

今回は忙しくて出席できません。

85回・幸村伸

いつかは出席してみたいと思いつつ、なかなか実現できずに居ります。

85回・杉山真理子

仕事は相変わらず化粧品品の安全性保証業務を行っています。

86回・前田智子

盛會をお祈りいたします。

88回・小竹聡

御無沙汰しております。相変わらず教育学部で憲法を教えております。いつも会報を楽しみにしております。

88回・前田豊

5/1結婚しました

88回・渡辺哲也

7月より海外勤務となりました。郵便物は上記住所の方に送って下さるよう、よろしくお願い致します。

89回・岩野尚子

今回も出席することができず、残念です。当日の御盛會をお祈りいたします。

94回・坂上佳子

返事が遅れて申し訳ありません。主人の転勤で上記住所に引っ越しました。今は2人の娘の子育てにおわけています。

99回・保原野みどり

結婚の為、姓が変わりました。今年1月よりシガポールに転居しました。代筆、母、中野八重子

104回・星野由紀

先日は高校2年生の時の友人に会い、思い出話が全くつきない楽しい時を過ごしました。その後さらに輪が広がり、夏には同級会をしようとして計画しています。

106回・大島典子

遅れて申し訳ありません。大学を卒業し、新潟にもどつてまいりました。いつも会報を送っていたのでありがとうございます。

107回・山本貴美子

アルバイトのため今回は欠席させていただきます。もし司会がいらない時は一応連絡下さい。

109回・桜井晋介

実習のため多々遅れての参加になるかもしれませんが、楽しみにしています。

109回・新野貴大

所用により、今回も欠席いたします。次回こそは出席したいと思っております。

109回・渡辺康弘

返事が遅れて申し訳ありません。残念ながら今回は欠席させていただきます。当日の盛會をお祈りします。一年は早いものです。

110回・杉山知子

残念ながら出席できません。御盛會となります様、お祈り申し上げます。

110回・山口光太

新人ですが、サークル活動のため行けません。御盛會をお祈りいたします。

110回・高橋京子

法政大学一年生としてがんばっています!!

110回・酒井優理子

大学生活にも慣れてきました。初めての同窓会、楽しみです。よろしくお祈りします。

110回・近藤裕美子

大学生活楽しくすごさせていただいています!!